

市川第20210721-0285号

令和3年 9月 7日

市川市博物館協議会委員 様

市立市川考古博物館

館長 杉山 元明

令和3年度 第1回市川市博物館協議会の書面開催について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より博物館行政に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の増大に伴い、東京都に4回目、更に千葉県においても3回目となる「緊急事態宣言」が発令されております。

このような状況を鑑み、本年度第1回目となる博物館協議会につきましては、書面による開催とさせていただくこととなり、委員の皆様への新たな委嘱状交付も郵送によることといたしました。

さて、議題等につきましては、【別紙1】「令和2年度事業実施状況に対する外部評価」にあります「館別自己評価」、「総合自己評価」に対しまして、同【別紙1】の外部評価に皆様の評価を、また、ご意見がございましたら「外部意見等」にご記入下さいますようお願いいたします。なお、「館別自己評価」等の根拠として、【別紙2】「令和2年度館別事業実施状況評価」を同封しましたので、ご回答にあたってのご質問等がございましたら、下記の担当者までお問合わせ下さい。

また、【別紙3】「令和3年度館別事業計画の変更」や【別紙4】自然博物館で実施する企画展「長田谷津、江戸川放水路」等についてご意見ご要望等ございましたら、【別紙5】にご記入下さるよう併せてお願いいたします。

なお、【別紙1】、【別紙5】及び承認書の回答にあたりましては、同封しました返信用封筒にて令和3年10月8日（金）までに送付下さるようお願いいたします。

※新任委員の皆様には銀行口座登録用紙にご記入の上、返信用封筒にて送付願います。

※同封いたしました委嘱状をご確認下さい。

【事務局】市立市川考古博物館

電話番号 047-373-2202

FAX 番号 047-373-2205

担当者 考古博物館 皆川・堀江

# 令和3年度 第1回市川市博物館協議会

## 会 議 次 第

### 1. 議 題

○令和2年度事業実施状況に対する外部評価について

(添付資料)

- ・令和2年度館別事業実施状況に対する外部評価【別紙1】
- ・令和2年度館別事業実施状況評価【別紙2】
- ・令和3年度館別事業計画の変更【別紙3】
- ・令和3(2021)年度企画展『長田谷津、江戸川放水路』について【別紙4】
- ・その他ご意見ご要望等【別紙5】
- ・市川市博物館協議会 委嘱委員一覧【別紙6】

## 令和2年度事業実施状況に対する外部評価

委員名

評価基準 A：参加者数、内容、参加者満足度すべてに見込みを上回る成果を得ることができた。（目標の90%以上）  
 B：ほぼ見込みどおりの結果を得た。（目標の80～75%程度）  
 C：改善の余地があるものと考えられる。（目標の60%程度）  
 D：今後の計画に際しては、実施を含めて検討する必要があると思われる。（目標の50%に満たない）  
 ー：コロナ禍で事業未実施のため、評価できず。

事業種別	館名	館別意見（概略）	館別自己評価	総合自己評価	外部意見等	外部評価
収集・保管及び調査研究	考古	市史編さん事業と連動した形で市内の自然貝層の調査を進め、見込み通りの成果があがった。	B	B		
	歴史	収蔵資料の古文書（570点余り）の整理（目録作成）が進むとともに、収蔵室自体の整理も進んだ。	A			
	自然	データベース化が進行しなかった。新規の資料収集もほとんどできなかった。	C			
展示	考古	コロナの影響で、博物館館務実習にともなう展示替えができず、展示を次年度へ延長。	C	B		
	歴史	企画展「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」を年度末に実施し、好評を得ることができた。	B			
	自然	感染拡大防止対策（閉館後の消毒、椅子の撤去、ハンズオンの中止など）を行い、コロナ前に近い形で開催できた。	B			
市民向けの教育普及	考古	土偶づくりは、博物館友の会と共催事業であり（全4回）、概ね好評であった。	B	B		
	歴史	感染防止のため、博物館ボランティア研修のみ年2回実施（半年に1回）。	B			
	自然	感染拡大防止の観点から実施できなかった。また、感染防止に対応した新しい形での実施もできなかった。	-			
学校関連の教育普及	考古	学校巡回展は指で組む「組ひも古技法クテ打」の紹介を小学校4校で開催した。出前授業は、縄文体験学習にかわるもので、好評であった。	B	B		
	歴史	団体では、中学校2校・特別支援学校1校の学習指導を行った。	B			
	自然	出前授業は市内の市立・私立小学校から9回依頼があった。	B			
地域連携の教育普及	考古	友の会からの要請に基づき、見学会講師などで協力した。	B	B		
	歴史	今年度は、会による展示への協力、会報の原稿執筆、活動場所の提供、資料調査協力などを行った。	B			
	自然	公民館、市民団体等申込があれば対応する。	-			
運営	考古	考古博物館の事業内容をアピールした。	A	A		
	歴史	限られた予算の中で必要な施設維持管理に努めた。	A			
	自然	施設の維持管理等予定通り実施した。	A			

令和2年度 考古博物館 事業実施状況評価

評 価 基準  
 評 A:参加者数、内容、満足度全てに見込み以上の成果を得た(90%上)  
 価 B:ほぼ見込み通りの成果を得た(75~80%程度)  
 基 C:改善の余地あり(60%程度)  
 準 D:実施を含めて検討の要あり(50%下)  
 -:コロナ禍で事業未実施のため、評価できず

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
収集・保管及び調査研究事業	収蔵資料の調査研究及び整理	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	B	市史編さん事業と連動した形で市内の自然貝層の調査を進め、見込み通りの成果があがった。	調査研究資料を置く場所を確保したい。
	市史編纂関係報告書作成(曾谷貝塚・下総国府)	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	B	曾谷貝塚の報告書作成に着手し始めた。	次年度についても、実施したい。
	平成28年度考古博物館館報(紀要)の制作及び発行	3月、800部	3月、800部	A	博物館活動の年間記録及び調査研究成果を、他の博物館や一般市民等に提供した。	次年度についても、制作及び発行する。
	博物館資料の管理(図書及び関係機関住所等管理)	年間を通して約1,000点を登録予定	年間を通して実施し、約800冊を登録した。	B	博物館関連団体に関する情報及び寄贈図書を整理登録した。	次年度についても、実施したい。
	各種研究会への参加、各地博物館の見学	年間10回以上	1回、1人	D	コロナ禍の影響で、多く実施できなかった。	本事業へ職員が出席できる一層の環境整備。
展示事業	常設展示	年間を通して実施する。	常設展は年間を通して実施した。	B	LEDへの交換にともなって、展示ケースが明るく見やすい展示になった。また、多目的トイレでLED交換を実施した。	部分的に修繕を要する箇所が残っている。
	ホール小展示1「下総に咲いた華—下総国分寺と宝相華文—」	~R2. 6/14	6/1~R3. 7/25 6,593人	C	コロナ禍の影響で、博物館館務実習に伴う展示替えができず、前年度同様の展示内容となった。	次年度は展示替えをおこないたい。
	展示解説	年間を通して、実施した。	4回、29人	D	コロナ禍の影響で、多く実施できなかった。	引き続き実施したい。

令和2年度 考古博物館 事業実施状況評価

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ①全市民対象	考古博物館講座 (『続日本紀』、『日本霊記』を読む)	ともに月1回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	受講生(大半が市川市民)に期待に応え、『続日本紀』『日本霊異記』講読の講座を継続したい。
	考古博物館指導員養成講座(縄文学習・火おこし・組紐)	3種 11回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。
	ボランティア研修日・活動日(縄文学習・火おこし・組紐)	年間を通して、実施する。	4回、29人	B	コロナ禍の影響で多く実施できなかった。	次年度は実施したい。
	考古博物館体験学習(土偶づくり)	11月、12月	4回 96人	A	土偶づくりは、博物館友の会と共催事業であり(全4回)、概ね好評であった。	粘土の確保が大きな課題となっている。
	歴史カレッジ講演会「丸木舟」	5月30日	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。
	ナイトミュージアム	8月4日	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。
	夏休みスタンプラリー	夏休み期間中	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。
	市川歴史カレッジ	5/9～月1回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。
	博物館フェスティバル	8/17、3/28	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	次年度は実施したい。

令和2年度 考古博物館 事業実施状況評価

教育普及事業 ②学校連携	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
	学校巡回展、出前授業	申し込みを受けて実施する。	学校巡回展：4校 (南新浜・百合台・稲越・大町小) 出前授業：4校	B	学校巡回展は指で組む「組ひも古技法クテ打」を小学校4校で開催した。出前授業は、縄文体験学習にかわるもので、好評であった。	学校巡回展とワークショップの同時開催を前提としていたが、今後は学校の要望に沿う形に変更予定。
	小学生向け体験学習指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	コロナ禍のため、出前授業に振り替えた。	次年度は実施したい。
	中学生職場体験指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	要請があれば、対応していく。
	高校生ボランティア活動支援	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	要請があれば、対応していく。
	小・中・高校生調べ学習指導	申し込みを受けて実施する。	申し込みを受けて実施した。	B	随時、対応しているが、概ね満足していただいている。	事前に連絡がないこともあり、学芸員が不在であることもあった。
	大学生学芸員課程館務実習指導	7/28～8/7	6大学、6人	B	ホール展示をおこなう予定であったが、密集しての作業となるため、2人3班にわけて、展示台の修復などをおこなった。	次年度はホール展示をおこないたい。
	教員対象の博物館利用研修	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	要請があれば、対応していく。
	教員対象フォローアップ研修	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	要請があれば、対応していく。
	社会科副読本『わたしたちの市川』制作協力	年間を通して実施する。	未実施	-	要請がなかった。	要請があれば、対応していく。

令和2年度 考古博物館 事業実施状況評価

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ③地域連携	博物館友の会事業への協力	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	B	友の会からの要請に基づき、見学会講師などで協力した。	次年度についても、要請があれば協力していく。
	公民館講座	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	次年度も要請があればおこないたい。
	地域まつりへの出張展示・展示解説及び体験指導	申し込みを受けて実施する。	1回 17人	B	小学校が主催するイベントで、火おこし体験の出張指導を実施し、概ね好評であった。	次年度も要請があればおこないたい。
	観光関係機関、部署との連携	年間を通して実施する。	未実施	-	他自治体の講演は、2ヶ所で予定していたが、中止及び延期となった。	次年度についても、連携を図っていきたい。
	運営	考古・歴史博物館だよりの制作及び発行	4回／年	4回／年	A	考古博物館の事業内容をアピールした。
令和3年度考古・歴史博物館入館案内の発行		3月、10,000部	3月、10,000部	A	行事のほか、一部の写真を変更し地図を修正した。	今後も継続して発行したい。
施設の維持管理及び庶務事務		年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	A	考古博物館の施設維持に必要な予算を確保し、適切な維持管理に努めた。	予算が厳しい状況ではあるが、施設維持に必要な経費を要求する。

令和2年度 歴史博物館 事業実施状況評価

評 価 基 準  
 A:参加者数、内容、満足度全てに見込み以上の成果を得た(90%上)  
 B:ほぼ見込み通りの成果を得た(75～80%程度)  
 C:改善の余地あり(60%程度)  
 D:実施を含めて検討の要あり(50%下)  
 -:コロナ禍で事業未実施のため、評価できず

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
収集・保管及び調査研究事業	収蔵資料の調査研究、整理及び維持管理	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	A	収蔵資料の古文書（570点余り）整理及び、民具（360点余り）整理が進むとともに、収蔵室自体の整理も進んだ。	収蔵資料の調査に要する時間が不足している。
	市内学校所蔵資料調査	事前に調整して実施する。	1校実施した。	B	1校の郷土学習室の展示リニューアルの手伝いと、資料整理を実施した。	郷土学習室のリニューアル等の要望があれば、協力をする。
	資料及び古写真のデータベース化	年間を通して実施する。	古文書目録のデジタル化。	C	整理した資料目録のデジタル化をはじめたばかりである。	作業に要する人手や時間が不足している。
	令和元年度歴史博物館館報（紀要）の制作及び発行	3月、700部	3月に700部を発行した。	A	博物館活動の年間記録及び調査研究成果を、他の博物館や一般市民等に提供した。	博物館活動をより多くの人々に知ってもらうための措置を行う。
	博物館資料の管理（図書及び関係機関住所等管理）	年間を通して実施する。	年間379冊を登録	B	博物館関連団体に関する情報及び寄贈図書を整理登録した。	図書館の整理を進める。
	各種研究会への参加、各地博物館の見学	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	A	江戸東京博物館等12施設の見学・調査（主に企画展の関係調査、年中行事調査）を実施し、市域の歴史・民俗研究を深めることができた。	可能な限り、他の博物館等の見学会や資料調査等を実施し、展示や講座等に活用する。
展示事業	常設展示	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	B	老朽化したキャプションを新たに制作し、展示資料の一部入れ替えを行った。	キャプションの入替や、展示パネルのメンテナンスを行う。
	企画展「発見 体験 昔の暮らし」	9月～12月	9/4～12/13 入館者3,821人	B	コロナ禍の状況下、展示の特色といえる、資料に触れて体験するコーナーを設けることができなかったが、資料の展示は実施した。	コロナ禍に、対応した展示構成にする。
	企画展「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」	3月 4月～5月（3年度）	3/23～31、 入館者数447人 4/1～5/9（3年度） 入館者数3,201人	A	コロナ禍により何度も会期が延期されたが、年度末に開催ができ、好評を得ることができた。	次回は令和5年度の予定。
	企画展「季節の展示」	時期に合わせて実施する。	春1回、夏1回、	B	コロナ禍により、夏1回「怪異探訪」、春1回「年中行事」のみ開催した。	季節にこだわらず、学芸員の日頃の調査・研究等に基づいた内容の展示を実施する。
	収蔵資料展	9月～12月	中止	-	大学生の博物館実習の一環による展示会であったが、コロナ禍による博物館実習のカリキュラム変更により中止した。	今年度は実施予定。
	展示解説	年間を通して、また企画展開催中実施	8回、28人	B	コロナの感染防止に努め希望者に実施をした。	昨年度同様、感染防止に努め、希望があれば実施をする。

令和2年度 歴史博物館 事業実施状況評価

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ① 全市民対象	歴史博物館講座（中世、近代、民俗学）	中世3回 近代10回 民俗4回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
	体験学習指導員研修	10回	2回	B	感染防止のため、年2回実施（半年に1回）。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
	昔の遊び体験（紙芝居、紋切り遊び、火打ち石等）	毎週土・日曜日	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
	季節の行事体験（七夕飾り、正月飾り作り）	7月、12月	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
	昔の暮らし等の体験講座（洗濯、和綴じ本作り、歴史地図作り）	年4回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
	歴史カレッジ及び関連講演会	10回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	来年度に延期
	博物館フェスティバル	2回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。
ナイトミュージアム	1回	中止	-	コロナ禍の影響で実施を見送った。	新型コロナウイルスの感染状況により実施予定。	
教育普及事業 ② 学校連携	学校巡回展、教材用資料貸出、出前授業	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	申し込みがあれば実施する。
	小学生向け体験学習指導（昔の暮らし体験）	申し込みを受けて実施する。	5校 465人	B	関連資料の展示を行い、体験は中止した。	関連資料の展示は行うが、体験はしない。
	中学生職場体験指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	申し込みがあれば実施する。
	小・中・高校生調べ学習指導	申し込みを受けて実施する。	申し込みに応じ実施した。	B	団体では、中学校2校・特別支援学校1校の学習指導を行った。	申込があれば実施する。
	大学生学芸員課程 館務実習指導	8/21、28～30、9/1～3、18～20	7大学、7人	B	感染症予防のため、期間の短縮と人員の分散化を行った。	コロナ禍における、実習のカリキュラムについての検討が必要である。
	教員対象フォロアアップ研修	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	申し込みがあれば実施する。

令和2年度 歴史博物館 事業実施状況評価

		目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ③地域連携	博物館友の会事業への協力	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	B	今年度は、会による展示への協力、会報の原稿執筆、活動場所の提供、資料調査協力などを行った。	コロナ禍における、友の会事業への協力について検討をする。
	公民館講座（公民館主催講座への講師派遣）	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	申し込みがあれば実施する。
	地域まつりへの出張展示、展示解説及び体験指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	申し込みがあれば実施する。
	地元民俗行事協力（堀之内辻切り等）	1月	未実施	-	堀之内辻切りの担い手不足等により中止となった。	行事が再開すれば、参加協力をする。
運営	考古・歴史博物館だよりの制作及び発行	4回／年	4回／年	A	予定通り発行した。	だよりのPR方法をさらに検討する。
	令和3年度考古・歴史博物館行事案内の発行	3月、10,000部	3月、10,000部	A	予定通り発行した。	今後も継続して発行する。
	施設の維持管理及び庶務事務	年間を通して実施する。	年間を通して実施した。	A	限られた予算内で適切な施設維持管理に努めた。	今年度も、施設維持に必要な予算を要求する。

令和2年度 自然博物館 事業実施状況評価

評 A:参加者数、内容、満足度全てに見込み以上の成果を得た(90%上)  
 価 B:ほぼ見込み通りの成果を得た(75~80%程度)  
 基 C:改善の余地あり(60%程度)  
 準 D:実施を含めて検討の要あり(50%下)  
 -:コロナ渦で事業未実施のため、評価できず

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
収集・保管及び調査研究事業	収蔵資料の調査及び整理	年間を通して実施する。	年間を通して対応したが、作業時間数は多くなかった。	C	データベース化が進行しなかった。新規の資料収集もほとんどできなかった。収蔵資料の整理についてはボランティアの方の協力を得て昆虫標本について整理が進んだ。収蔵資料の管理について、現場の実態に即した業務フローの構築はできなかった。	収蔵資料の管理に関する業務フローを再構築したい。また、新型コロナウイルスの感染状況に応じてボランティアさんの作業日程を調整したい。
	トビハゼ生息状況調査(トビハゼ保全施設連絡会)	年間を通して実施する。	年間を通して予定した内容の一部を実施した。	B	「トビハゼ保全 施設連絡会」の運営と、巣穴調査、稚魚調査は実施したが、感染拡大防止の観点から会議と観察会は開催できなかった。	新型コロナウイルスの感染状況に応じた活動を行う。
	資料の電子化	年間を通して実施する。	年間を通して対応したが、作業時間数は多くなかった。	C	スライドフィルムのデジタル化を中心に進めたが、あまりはかどらなかった。	フィルムの劣化が懸念されるので、なるべく速やかに行っていききたい。
	図書管理	年間を通して実施する。	臨時休館期間を除き、年間を通して対応した。	B	図書資料について、ボランティアの方の協力を得て、書庫の整理が進んだ。	新型コロナウイルスの感染状況に応じてボランティアさんの作業日程を調整したい。
	各種研究会への参加、各地博物館の見学	適宜実施する。	未実施	-	感染拡大防止の観点から研究会等の開催が無く、他館の見学も行える状況ではなかった。	新型コロナウイルスの感染状況に応じた活動を行う。

展示事業	常設展示	年間を通して実施する。	年度当初から6月8日までと、1月8日から3月22日まで臨時休館した。	B	感染拡大防止対策(閉館後の消毒、椅子の撤去、ハンズオンの中止など)を行いながら、コロナ前に近い形で開催できた。	新型コロナウイルスの感染状況に応じた内容で展示を行う。
	飼育展示、小展示	年間を通して実施する。	年度当初から6月8日までと、1月8日から3月22日まで臨時休館した。	B	感染拡大防止対策(閉館後の消毒、飼育ケースの間引き、フォトフレームの撤去など)を行いながら、コロナ前に近い形で開催できた。	上記と同じ
	展示解説	年間を通して実施する。	マスク着用という制限の中で行った。	B	マスク着用、控えめの会話という新たなマナーのなかで、寄せられた質問などには対応した。	新型コロナウイルスの感染状況に応じた内容で対応を行う。

令和2年度 自然博物館 事業実施状況評価

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ①全市民対象	自然観察会、散策会 (親子自然観察会、 長田谷津散策会)	17回	未実施	-	感染拡大防止の観点から実施できなかった。 また、感染防止に対応した新しい形での実施もできなかった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止の取り組みのなかで、いままでどおりの運営はむずかしく、新しい行事の形をゼロから考え直す必要がある。
	野草名札付け	9回	未実施	-	上記と同じ	上記と同じ
	大町自然観察園環境整備	10回	未実施	-	上記と同じ	上記と同じ

教育普及事業 ②学校連携	出前授業	申し込みを受けて実施する。	9回実施した。	B	市内の市立・私立小学校から依頼があった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で、感染状況に応じた活動を行う。
	小学生等自然体験学習指導 (大町公園)	申し込みを受けて実施する。	5回実施した。	B	少年自然の家が利用できなかったため日帰りで行った。市内外の市立小学校のほか、市内私立中高の部活動もあった。	上記と同じ
	中学生職場体験指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	上記と同じ
	小・中・高校生調べ学習指導	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	上記と同じ
	大学生学芸員課程館務実習指導	8月	1回実施した。	B	予定したプログラムを行うことができた。	学生にとっては1度きりの機会なので感染防止を徹底し実施したい。
	教員研修会講師派遣	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で、感染状況に応じた活動を行う。
	教員対象フォローアップ研修	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	上記と同じ

令和2年度 自然博物館 事業実施状況評価

	事業名	目標又は予定	実施及び達成状況	評価	評価根拠	次年度への課題
教育普及事業 ③地域連携	(公民館、市民団体等) 講座講師派遣	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で、感染状況に応じた活動を行う。
	大町レクリエーションゾーンフェスティバル	11月、1月	未実施	-	中止となった。	上記と同じ
	出張展示・展示解説及び出張体験指導 (小・中学校祭り、少年自然の家チャレンジスクール等)	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	上記と同じ
	観光関係機関、部署との連携	申し込みを受けて実施する。	未実施	-	申し込みがなかった。	上記と同じ

運営	自然博物館だよりの制作及び発行	隔月発行	実施した。	A	予定通り発行した。	予定通り発行したい。
	2021年度自然博物館行事案内の発行	3月、1500部	行事開催のめどが立たなかったため印刷しなかった。	-	配布をしていない	予定通り発行したい。
	平成31年度自然博物館年報の制作及び発行	3月、500部	実施した。	A	予定通り発行した。	予定通り発行したい。
	施設の維持管理及び庶務事務	年間を通して実施する。	実施した。	A	予定通り実施した。	コロナウイルス感染拡大防止対策を行うことが求められている。



# 令和3年度 考古博物館 事業計画の変更

【別紙3】

事業種別	事業名	予定日及び見込み数
収集・調査・保管及び研究	1. 収蔵資料の調査・整理及びデータベース化	1,000点/年
	2. 市内出土資料調査	年間を通して実施
	3. 博物館資料のパソコン管理（収蔵品・図書・住所ほか）	1,000件/年
	4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	随時
	5. 文化財担当関係調査	年間を通して実施
	6. 市史編纂関係調査（曾谷貝塚・下総国府）	年間を通して実施
	7. 曾谷貝塚総括報告書作成	年間を通して実施
展示	1. 常設展及び北国分駅構内展示	年間を通して実施
	2. ホール小展示「宝相華文」（平成31年度館務実習展示）	～8/29(日)
	3. ホール小展示「市川出土の縄文土器」（令和3年度館務実習展示）	9/7(火)～
	4. 企画展「らくがく縄文館」（公財）千葉県教育振興財団	7/24(土)～9/12(日)
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	
	1. 企画展関連講演会	8/29(日)
	2. 考古博物館講座『日本霊異記』を読む	10/13(水)～、第2水曜日
	3. 考古博物館講座を読む	10/27(水)～、第4水曜日
	4. 火おこし・縄文学習・組紐指導員の活動支援	土・日曜日ほか
	5. 夏休みスタンプラリー	7・8月
	6. 博物館講演会『古代の誕生 釈迦仏』	10/9(土)
	7. 館内コンサート	11月
	8. 土器づくり（友の会共催）	11・12月
9. 縄文体験フェスティバル（第22回）	3/27(日)	
学校関連の教育普及	業	
	子どもの成長や学びを支える事業	
	◎学校関係	
	1. 学校巡回展「弥生土器」	9～12月
	2. 小学生向け出張授業	6・7月
	3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施
	4. 大学学芸員課程館務実習指導	8/27(金)、8/31(火)～9/5(日)
5. 千葉商科大学出張展示	年間を通して実施	
6. 学生調べ学習指導	年間を通して実施	
◎教員関係		
1. 市立小中学校教員研修会	調整中	
地域連携の教育普及	イ	
	地域の文化やコミュニティをサポートする事業	
	1. 博物館友の会事業協力	依頼により実施
	2. 公民館講座（社会教育課）	依頼により実施
	3. 地域まつり（自治会等）	依頼により実施
	4. 市内公共施設出張展示（各所管課）	依頼により実施
5. 市内公共施設出張展示ギャリートーク（各所管課）	依頼により実施	
6. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	依頼により実施	
運営	1. 令和2年度考古博物館館報（第49号）発行	3月、800部
	2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回/年
	3. 令和3年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月
	4. 博物館協議会事務局事務	2回/年
	5. 考古・歴史博物館特設サイト制作業務	年間を通して実施
	6. 施設の維持管理	年間を通して実施
	7. 施設整備（休館）	2/15(火)～18(金)

## 令和3年度 歴史博物館 事業計画の変更

		事業名	予定日及び見込み数
収集・保管及び 調査研究		1. 収蔵資料の調査、整理及びデータベース化	500点/年
		2. 市内小学校所蔵資料調査	年間を通して実施
		3. 博物館資料のパソコン管理（図書管理・住所管理）	1,000件/年
		4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	随時
		5. 文化財担当関係調査	年間を通して実施
		6. 市史編纂関係調査	〃
		7. 稲作調査（簡易な稲栽培）	〃
展示		1. 常設展	
		2. 館務実習展（いちかわの日蓮2）	9/3（金）～10/24（日）
		3. 企画展「発見・体験昔のくらし」	11/3（水祝）～1/30（日）
		4. 小企画展（いちかわの日蓮1、陸軍教導団と日清戦争）他	年間を通して実施
		5. 季節の展示等	年間を通して実施
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	1. 歴史博物館講座「近代史講座」	2回/年（11月・1月）
		2. 歴史博物館講座「古文書講座（中近世）」	3回/年（10月・1月）
		3. 体験学習指導員定例研修会	1回/2ヶ月（主に第4土曜日）
		4. 夏休みスタンプラリー	7・8月
		5. 和綴じ本作り	3月
		6. 昔の遊び体験	年間を通して実施
		7. 縄文体験フェスティバル（第22回）	3/27（日）
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを支える事業	◎学校関連	
		1. 学校巡回展、出前授業	申し込みにより実施
		2. 小学生向け体験学習指導	11～1月
		3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施
		4. 大学学芸員課程館務実習指導	8/24（火）、8/31（火）～9/2（木）
		5. 学生調べ学習指導	年間を通して実施
		◎教員関連	
1. 市立小中学校教員研修会			
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニティをサポートする事業	1. 博物館友の会事業協力	依頼により実施
		2. 公民館講座（社会教育課）	〃
		3. 地域まつり（自治会等）	〃
		4. 市内公共施設出張展示（各所管課）	〃
		5. 市内公共施設出張展示ギャラリートーク（各所管課）	〃
		6. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	〃
運営		1. 令和2年度歴史博物館館報発行	3月、700部
		2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回/年
		3. 令和3年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月
		4. SNS等による情報発信	随時
		5. 博物館協議会事務局事務	2回/年
		6. 施設の維持管理	年間を通して実施
		7. 施設整備（休館）	2/15（火）～18（金）

## 令和3年度 自然博物館 事業計画の変更

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・調査研究 調査・保管及び	1. 収蔵資料の調査・整理	随時 (ボランティアも含む)	
	2. 博物館資料の専用パソコン管理	随時	
	3. 各種研究会への参加、関連施設の視察	感染状況による	
	4. トビハゼ調査	2回/年	
	5. ヒヌマイトトンボ調査	7月	
	6. 長田谷津再整備検証 (生物多様性いちかわ戦略)	随時	
	7. 剥製制作委託	3月	
展示	1. 常設展 (市川の自然)	303日開館	
	2. 特別展示室の常時活用 (飼育展示など)	303日開館	
	3. ホール小展示 (飼育展示など)	303日開館	
	4. 自然観察園のみどころの掲示	毎月適宜	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	1. おやこ自然観察会	未定 (感染状況による)
		2. 長田谷津散策会	未定 (感染状況による)
		3. 長田谷津ボランティア 野草名札付け	未定 (感染状況による)
		4. 長田谷津ボランティア 自然観察園環境整備	未定 (感染状況による)
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを支援する事業	◎学校関連	
		1. 出張授業	依頼により実施
		2. 小学生向け自然観察学習指導 (グリーンスクールも含む)	依頼により実施
		3. 中学生職場体験指導	依頼により実施
		4. 高校生向け自然観察学習指導	依頼により実施
		5. 大学学芸員課程館務実習指導	7/30(金)～8/11(水)
◎教員関連			
1. 市立小中学校教員研修会	依頼により実施		
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニティをサポートする事業	1. 公民館講座 (社会教育課)	依頼により実施
		2. 大町レクリエーションゾーン「秋のフェスティバル」「初夢フェスティバル」 (動植物園主催事業にイベント協力)	依頼により実施
		3. ホテル観賞会期間の開館時間延長	中止
		4. 外部依頼講座 (他自治体及び市民団体)	依頼により実施
運営		1. 令和2年度自然博物館年報 (No.32) 発行	500部 3月
		2. 「市川自然博物館だより」発行	1,500部/6回 (隔月)
		3. 2022年度自然博物館行事案内の発行	見合わせ
		4. 施設の維持管理	毎日
		5. 飼育展示 生きもの管理	毎日

令和3(2021)年度企画展

# 長田谷津、江戸川放水路

## 1.テーマ

市川市域でも特に自然が残っている長田谷津(大町公園)と江戸川放水路について改めて価値や魅力についてパネルで紹介し、あわせてデジタル企画展としてwebサイトにも総合的な解説ページを設ける。

## 2.趣旨

長田谷津(大町公園)と江戸川放水路は、市川市域の北部と南部に位置し、それぞれ独特な自然環境を有し、生物が多いことでも知られている。過去に企画展で取り上げ解説書なども発行してきたが、webサイト上では十分な情報提供ができていない。そのため、今回の企画展ではパネル展示のほか、特にwebサイトの情報を充実させ、デジタル企画展として広く情報を発信する。

## 3.会場と期間

会場 自然博物館内パネル展示

自然博物館 web サイト

期間 令和3年度(令和4年)2月ごろを予定

## 4.内容

長田谷津(大町公園)と江戸川放水路について

- ・市域での位置と地形的な特徴、環境的な特徴の解説
- ・おもな生き物と特徴的な生き物、保護を要する生き物の解説
- ・市民生活との関係の紹介
- ・自然の保全に関する課題

といった項目を、文字、写真、動画などを使って総合的に解説する。

委員名

---

○令和3年度館別事業計画の変更

[ご意見等]

○令和3(2021)年度企画展『長田谷津、江戸川放水路』について

[ご意見等]

その他 博物館や協議会に対するご意見、ご要望について

## 【別紙6】

## 市川市博物館協議会 委嘱委員一覧

(任期：令和3年7月5日～令和5年7月4日)

区分	氏名	所属・役職名	初委嘱年月日
第1号委員	あさかわ じゅんいち 浅川 潤一	千葉商科大学附属高等学校 校長	令和元年7月5日□
	せいだ ひろゆき 清田 博之	市川市立稻荷木小学校 校長	令和元年7月5日□
第2号委員	さくらば ひでき 櫻庭 秀喜	市川博物館友の会 会長	令和元年7月5日□
第3号委員	まちだ みのる 町田 実	家庭教育学級指導員	令和2年6月5日
	まつまる ようすけ 松丸 陽輔	市川市PTA連絡協議会 会長	令和元年7月5日□
第4号委員	とみかわ としお 富川 俊雄	堀之内自治会 会長□	令和3年7月5日 新任
	たきぐち まさや 滝口 正哉	立教大学文学部 准教授 博物館学・近世都市史	令和3年7月5日 新任
	いけや けいこ 池谷 佳子	前 市川市立新浜幼稚園 園長 幼児教育	令和3年7月5日 新任
	かたおか れいこ 片岡 玲子	市川市立若宮小学校 校長 理科教育	平成25年7月5日
	しらい くみこ 白井 久美子	千葉県房総のむら主任上席研究員 教育行政	平成27年7月5日
	たなべ ゆみこ 田邊 由美子	千葉県立中央博物館歴史学研究科 上席研究員 動物考古学	令和元年7月5日□
	ふくおか なおこ 福岡 直子	元豊島区立郷土資料館 学芸員 民俗学	平成29年7月5日
	ふじむら あつし 藤村 淳	元筑波大学附属聴覚 特別支援学校教諭 理科	令和3年7月5日 新任
	まつだ あきら 松田 陽	東京大学大学院 准教授 文化資源学・博物館学	平成29年7月5日
	やまだ こうせい 山田 耕生	千葉商科大学サービス創造学部 准教授 観光地理学・観光地域論	令和元年7月5日□